

全体概要

農林水産技術会議・現場ニーズ対応型研究委託プロジェクト「成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発(2018-2022)」の小課題1「成長に優れた苗木の育苗技術の高度化」では、エリートツリー等を活用しつつ、山への植栽後に早期に旺盛な成長を示し林業の低コスト化・省力化に資するような優良な苗木をコンテナ苗として安定的に生産するには、どのように育苗するのがよいかという点に焦点をあてつつ、各地域で多様な調査・研究を推進しました。調査研究の内容は、採種園における採種母樹の管理から、種子の取扱い、施肥、育成密度、グルタチオン施用育苗等の育苗に影響すると考えられる多様な要因の影響の解明、それらの植栽後の成長への影響と多岐にわたります。本パンフレットでは、それらを種子採取から播種、育苗、植栽という作業手順に沿って、研究内容をグループ分けし、配列しています。

1 採種母樹の管理

よい種子を生産するために採種母樹にグルタチオンを施用

2 種子の取扱い

保存温度の重要性、グルタチオン施用の効果の可能性



3 播種

種子の充実率と発芽率の関係性、効率的な一粒播種法

4 育苗：育成スケジュール、育苗期間の成長

積算温度を活用した育苗スケジュールの立案法、育苗期間短縮の試み

5 育苗：施肥

施肥が苗木の生育に与える影響の解明

6 育苗：グルタチオン施用

グルタチオン施用が苗木の生育に与える影響



7 育苗：育苗密度

コンテナ苗の育成時に育苗密度が苗木に与える影響

8 育苗：処理

振とう/接触刺激や被隠処理が苗木の生育に与える影響

9 育苗：環境測定

既製品を利用した土壌水分のリアルタイム監視

10 苗木の貯蔵と植栽後の活着・成長

苗木の低温貯蔵した後のスギ実生コンテナ苗の活着率と初期成長

11 苗木サイズと植栽後の成長

植栽時の苗木サイズとその後の成長等との関係性

12 植栽後の成長

エリートツリー等の優良系統の苗木の植栽後の成長性等